

注：指示があるまで開けないで下さい。

## 総合防犯設備士資格認定試験

### 第一次試験(筆記方式)

C 専門問題 (必須)	
出題	3 問
時間	150 分
配点	1 問 100 点・合計 300 点

受験番号	— —
氏 名	

### 注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。別紙図面にも受験番号・氏名を記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。  
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。  
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



**C 問題ー1 (セキュリティについて)**

安全で平和な生活と組織活動の継続を確保するためには、適切で明解な行動の基となるセキュリティポリシーの策定が重要な鍵となる。

総合防犯設備士として組織活動上の防犯対策を提案する場合には、セキュリティポリシーの考え方や手法を参考にすることが望まれる。以下の問1ー4に答え解答欄に記せ。

**解答欄**

1. セキュリティポリシーの定義を記せ。

--

2. セキュリティポリシー策定上の留意点を記入例にならって3項目を記せ。

①	一部の部署でなく、全組織的体制で策定する。
②	組織が独自に培ってきた文化に無理のないように配慮する。
③	不履行や違反行為に対して強制力のある罰則をもたせる。
④	
⑤	
⑥	

次頁に続く

3. セキュリティポリシーは、策定したものを運用することが重要である。ここでいう「運用」の内容を例にならって5項目記せ。

①	継続的改善
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

4. 今日では、内部犯行への対応のほか、社会的信用というリソース(資産)を防御するために倫理規定の策定とコンプライアンス(遵法精神の徹底)の実施が重要になっている。倫理規定とコンプライアンスの基本的な考え方を述べよ。

## C問題-2（防犯設備の構築）

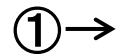
中核都市の市街地近くに立地するある共同住宅（マンション）の管理組合から、防犯カメラの設置に関する相談があった。

当共同住宅では過去に大きな犯罪は起っていないが、近隣の住宅地では空き巣などの侵入窃盗やひったくりなどの街頭犯罪が散見される。当共同住宅の共用部分の防犯カメラシステムは設置後年数がたっており見直しの時期が来ているため、システムを一新したいとの要望がある。

### <設問>

以下の条件をもとに防犯カメラシステムを設計し、防犯カメラ一覧表、機器配置図（別紙 C-2 図面）、システム系統図を作成せよ。（システム系統図とは、システムを構成する機器の組み合わせを示す図面をいう。）

機器配置図はカメラの設置位置のみを記入例に倣って記入し、カメラの記号は右図の通り○内にカメラ番号を記入し、あわせて撮影方向を矢印で示せ。なお、カメラ番号はカメラ一覧表に対応することとする。



システム系統図のカメラの図記号は、必要機能が判別できるものとする。

ただし、防犯カメラ一覧表、システム系統図とも不必要な機能を付加した場合は減点対象になる。

### <前提条件>

#### 1. 敷地、建物等

構造・階数	鉄筋コンクリート造、8階建て（既設）
出入口扉	メインエントランス、サブエントランス及び駐輪場入り口の自動ドアの外部からの入館は非接触カードにより解錠して行う その他の外部への出入口の扉の外部からの入館は非接触カードにより解錠して行う 住棟部から駐車場、駐輪場への通路の扉は、住棟部分への入館時に非接触カードにより解錠して行う
駐車場	自走式駐車場で、出入口側3層（MB1F、M2F、M3F）と自転車置き場の上階2層（1F、2F）となっており、M3F及び2Fには屋根はない 契約車の入庫は、シャッター開専用の非接触カードで開扉して行う
駐輪場	駐輪場は駐車場棟 B1F に設定されており、駐輪場入り口から斜路を通して出入りする。住棟への出入りは駐車場の階段を使用して行う
メールコーナー	郵便受け箱は壁貫通型で、投入口側の壁面に宅配ロッカーが設置されている
各部の照度	エントランス、エレベーターホール及びエレベーターかご内は 50 ルクス、共用廊下及び上記を除く共用出入口付近は 20 ルクス、駐車場及び駐輪場内の車路は 10 ルクス、駐車場の駐車部分、屋外部分及び庭園内は3ルクスの平均水平面照度が確保されている

次頁へ続く

## 2. 防犯カメラ設備

カメラ方式	既存(NTSC方式)システムの配線を極力利用するためアナログHD方式を採用する
防犯カメラ	使用するカメラはRBSS認定品とする 設置場所に応じて必要な機能を具備する 設置台数は、予算の制約上16台とする カメラへの電源供給は電源重畳方式とする
機器類の設置場所	レコーダー(16チャンネル用)、モニター等は収納架に収め、管理室内に設置する 1階エレベーター扉の近傍に当該エレベーター内の監視用のモニターを設置する

次頁へ続く

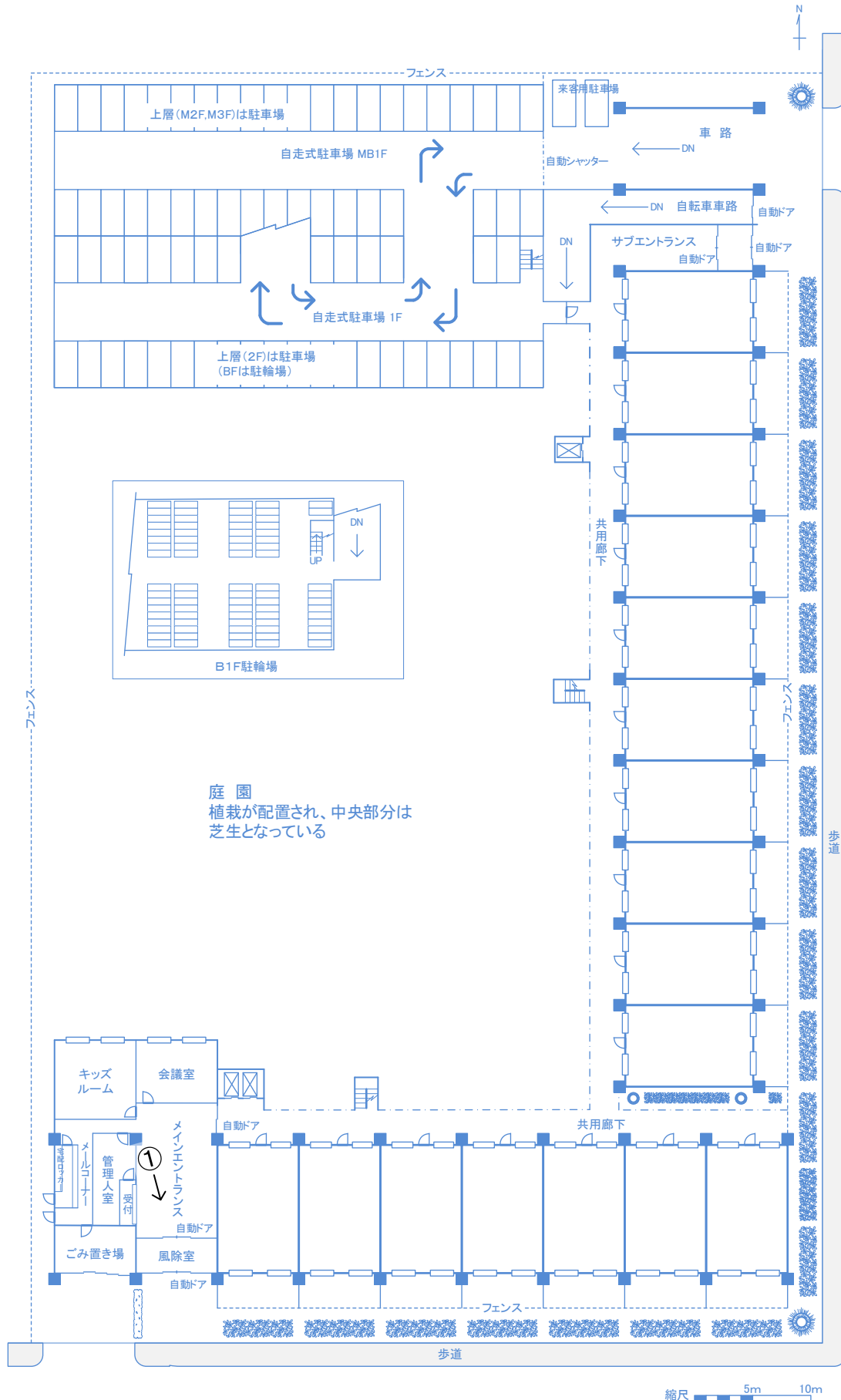
## 1 防犯カメラ一覧表

注：撮影対象場所とは、カメラで撮影される場所いう。

カメラ番号	撮影対象場所 <sup>〔注〕</sup>	撮影目的	画角	必要機能
1	(記入例)メインエントランス入口扉	入館者の人物の特定	A	ワイドダイナミック機能
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

次頁へ続く

2 機器配置図 【C-2図面】



次頁へ続く

### 3 システム系統図

1. 系統図内のカメラの図記号には、カメラ番号及び必要機能を付記のこと。
2. 日本防犯設備協会の図記号以外を使用する場合には下の凡例に記入のこと。

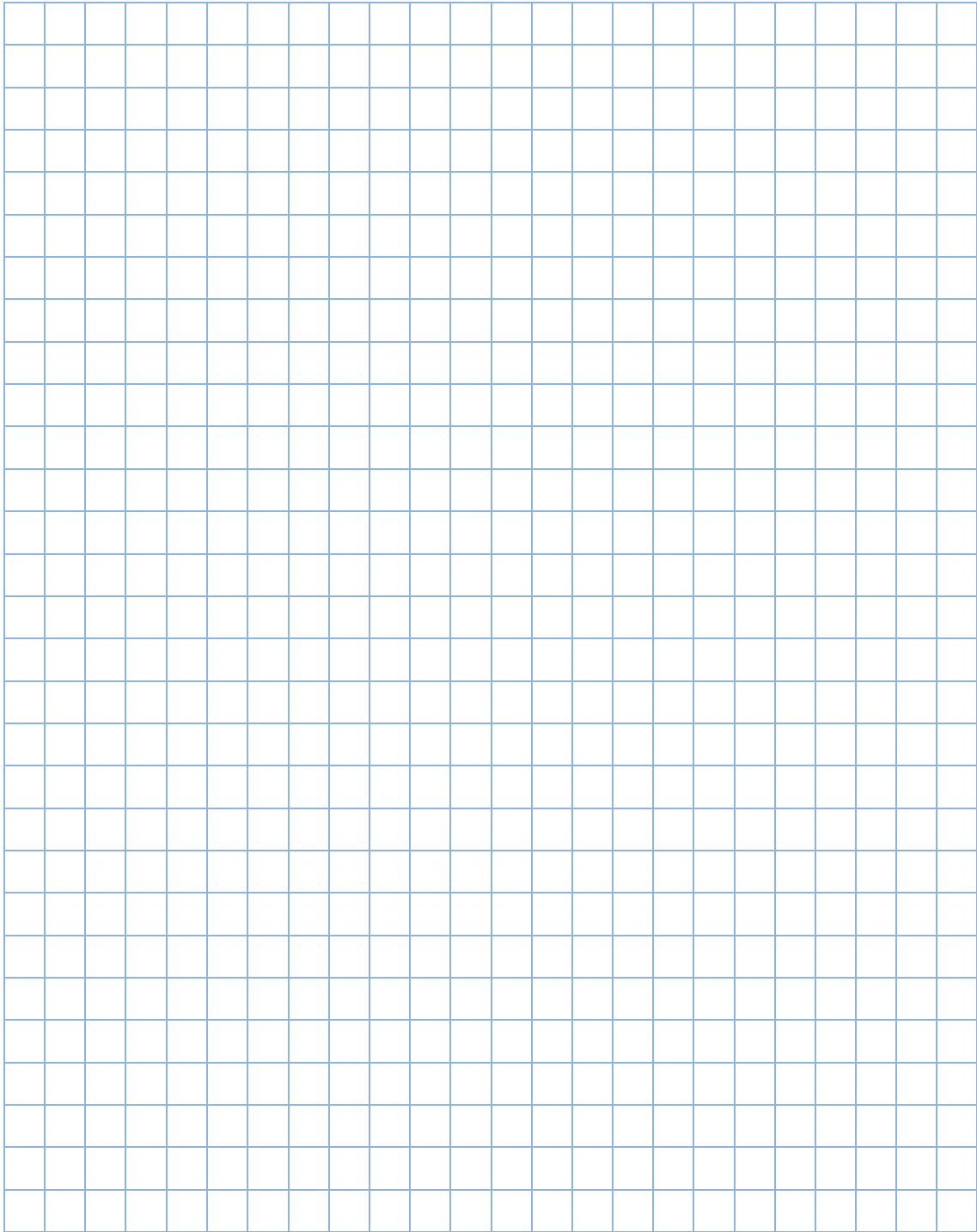
#### 凡例

図記号	名称	必要とする機能・仕様

システム系統図は次頁に記述

次頁へ続く





### C 問題一3（総合防犯監査）

R警備保障W営業所で、国内犯罪史上最高額(当時)、現金6億円強奪事件が発生した。

多くの内部情報(警備に関する情報)が実行犯側へ漏えいしていた事実が判明した。警備会社として管理体制の甘さや危機管理意識の低さが露見し、社会の信頼を失墜させる事件となった。

信頼回復にあたり、外部の総合防犯設備士に防犯コンサルティングの依頼をし、意見を求めることとなった。依頼主からは、警備に関する内部情報が漏えいしてもリソースを守る対策を構築できないかとの要望があった。

以下の資料をもとに、警備体制や防犯対策など現状の懸念事項および問題点、並びに運用管理および防犯設備についての改善策を提言せよ。

- (1) 現状の懸念事項、問題点について
- (2) (改善策)運用管理について
- (3) (改善策)防犯設備について

#### 《事件の概要》

5月12日(木)午前3時05分。W営業所に二人組の男が押し入った。カムラッチハンドルが壊れているため施錠できないシャワー室の腰高窓から侵入した。実行犯はソファで仮眠中の男性警備員の手首を粘着テープで縛り、刃物や鉄パイプで脅し、金庫室の暗証番号を聞き出した。

金庫室から現金が入った麻袋やカバン計70点を奪い逃走した。被害は現金約6億円に上った。犯行時間はわずか15分であった。

R警備保障W営業所は、貴重品輸送警備業務(第3号警備)に従事している。現金は中央郵便局から受け入れ、地域の各郵便局に配送する目的で保管されていた。

日を追うごとに事件の真相が明らかになり、計23人が強盗致傷罪等で逮捕、起訴された。背景は暴力団に関連した組織的犯行であった。主犯格の男には懲役20年の実刑判決が言い渡された。

#### 《事件の背景》

W営業所元契約社員の美容師が営業所の警備のずさんさをネタに、自らの美容院で、親しい常連客を笑わせていた笑い話が事件の発端となった。この美容師は、6年前から事件発生前の1か月後まで、R警備保障W営業所に夜間契約社員として働いていた。逮捕後、実刑判決懲役9年が確定した。

元契約社員の美容師が常連客に話していた内容を以下にまとめた。

- (1) 半年以上前から腰高窓のカギが壊れている。
- (2) 日によって、金庫室に保管されている現金は億単位となる。
- (3) 夜間、警備員が仮眠時間中の営業所内は、警備員ひとりである。
- (4) 金庫室は暗証番号の一致で開けることができる。
- (5) その暗証番号は、仮眠中の警備員も知っている。
- (6) 不法侵入者を検知する侵入警報システムは警戒スイッチが切られたままになっている。

次頁へ続く

その他内部情報の漏えいは、営業所内の間取りや防犯カメラの設置位置などにも及んでいた。これらの情報は、美容院の常連客から元暴力団の実行犯に伝わった。

報道によると、毎週火曜日と木曜日は他の日より多めに資金を配送するように委託されており、その前夜から金庫室には億単位の現金が保管されていたことがわかった。実行犯は、木曜日未明、犯行に及んでいる。

情報提供した美容師は金庫室の暗証番号は分かっているが、内通者がいることがバレないように警備員を脅して暗証番号を聞き出してほしいとの供述もあった。金庫室の暗証番号は、少なくとも6年間変更していなかったようだ。

同社警備員の23%にあたる115名が、警備業法施行規則で定められている法定教育(新任教育・現任教育)を受けずに業務に従事していた事実も判明し、規定時間教育を実施したような虚偽の帳簿も見つかった。

#### 《W営業所の概要》

R警備保障W営業所は、JR最寄り駅から徒歩20分の閑静な住宅街に位置し、4階建てマンションの1階を営業所として使っている。

片側一車線の通りの向こう東側は高校のグラウンドがあり、夜間の人通りはほとんどない。隣接する北側、西側、南側は住宅である。

W営業所では、契約社員含め20名が業務に従事していた。

以下の防犯設備と仕様、運用に関する情報は、事件当時のものである。

#### (1) 開口部および出入口部について

##### 《機器配置図①》

- ・ 北側の出入口は、片開きスチールドアで、錠の外側はシリンダー、内側は防犯サムターンとなっており、社員通用口として使用していた。最初出社者がシリンダー錠を解錠し、通常は18時頃施錠。日中は解錠されたままであった。
- ・ 入退室の履歴を取る設備やインターホン設備は設置されていなかった。

##### 《機器配置図②》

- ・ 北側のシャワー室の開口部は、縦約400mm 横約500mmの突き出し形式の腰高窓で、ガラス面は網入り板ガラスが使われており、カムラッチハンドルで施解錠するものであった。
- ・ このカムラッチハンドルは半年以上前から壊れていて、実行犯はここから侵入した。

##### 《機器配置図③》

- ・ 東側、駐車スペースの出入口は片開き扉ドアで、錠の外側はシリンダー、内側は防犯サムターンとなっており、ガラス面は網入り板ガラスが使用されていた。
- ・ 運用上、メインの出入口として使用し、最初出社者がシリンダー錠を解錠し、通常は18時頃施錠。日中は解錠されたままであった。
- ・ 入退室の履歴を取る設備やインターホン設備は設置されていなかった。

次頁へ続く

## 《機器配置図④》

- ・ 東側、駐車スペースの出入口は引き違い框ドアで、押し合わせ錠を使用し、錠の外側はシリンダー、内側はサムターンでガラス面は網入り板ガラスが使用されていた。
- ・ 常時閉鎖の出入口として運用されていた。

## 《機器配置図⑤》

- ・ 金庫室の片開きドアはアンチパニック付きの通電時解錠型電気錠を使用し、錠の外側はシリンダーである。テンキースイッチに暗証番号を入力し解錠していた。
- ・ 現設備は入退室の履歴は取れない簡易な出入管理設備であった。

## (2) 防犯設備について

## i) 出入管理システム

- ・ 金庫室出入口(機器配置図⑤)にはテンキースイッチが設置され、暗証番号を入力して電気錠を解錠し入室、退室時はレバーハンドルの操作で退室していた。

## ii) 侵入警報システム

- ・ 出入口部①③④および開口部②にマグネットスイッチが設置されていた。
- ・ 簡易型1回線警報制御盤は事務スペース壁面に設置され、4か所の警戒端末機器を1回線(同チャンネル)で警戒していた。
- ・ シャワー室の腰高窓(機器配置図②)がしっかりと閉まらないため、警戒スイッチをONにするや否や警報が鳴動するので、半年以上前から警戒状態にすることは無かった。

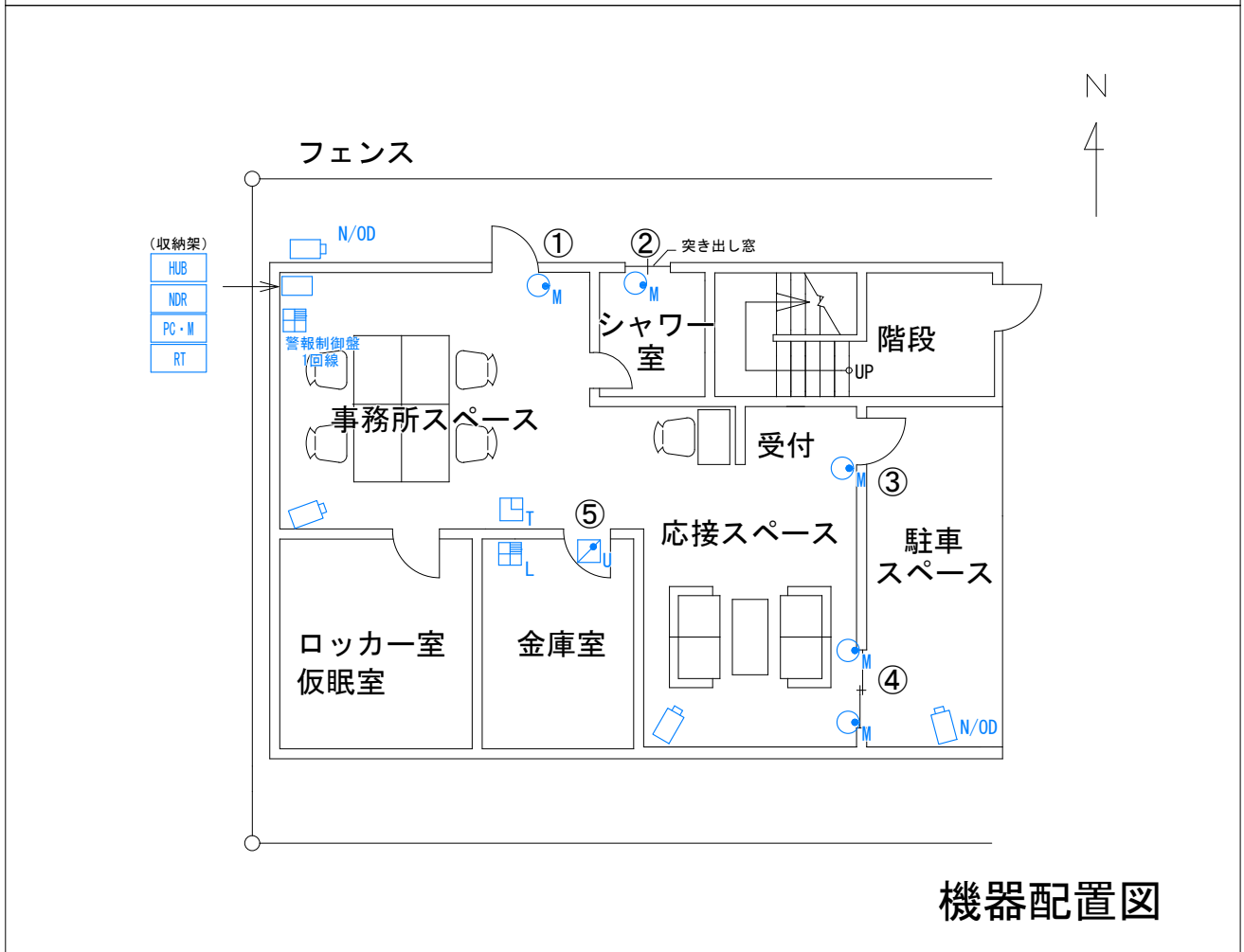
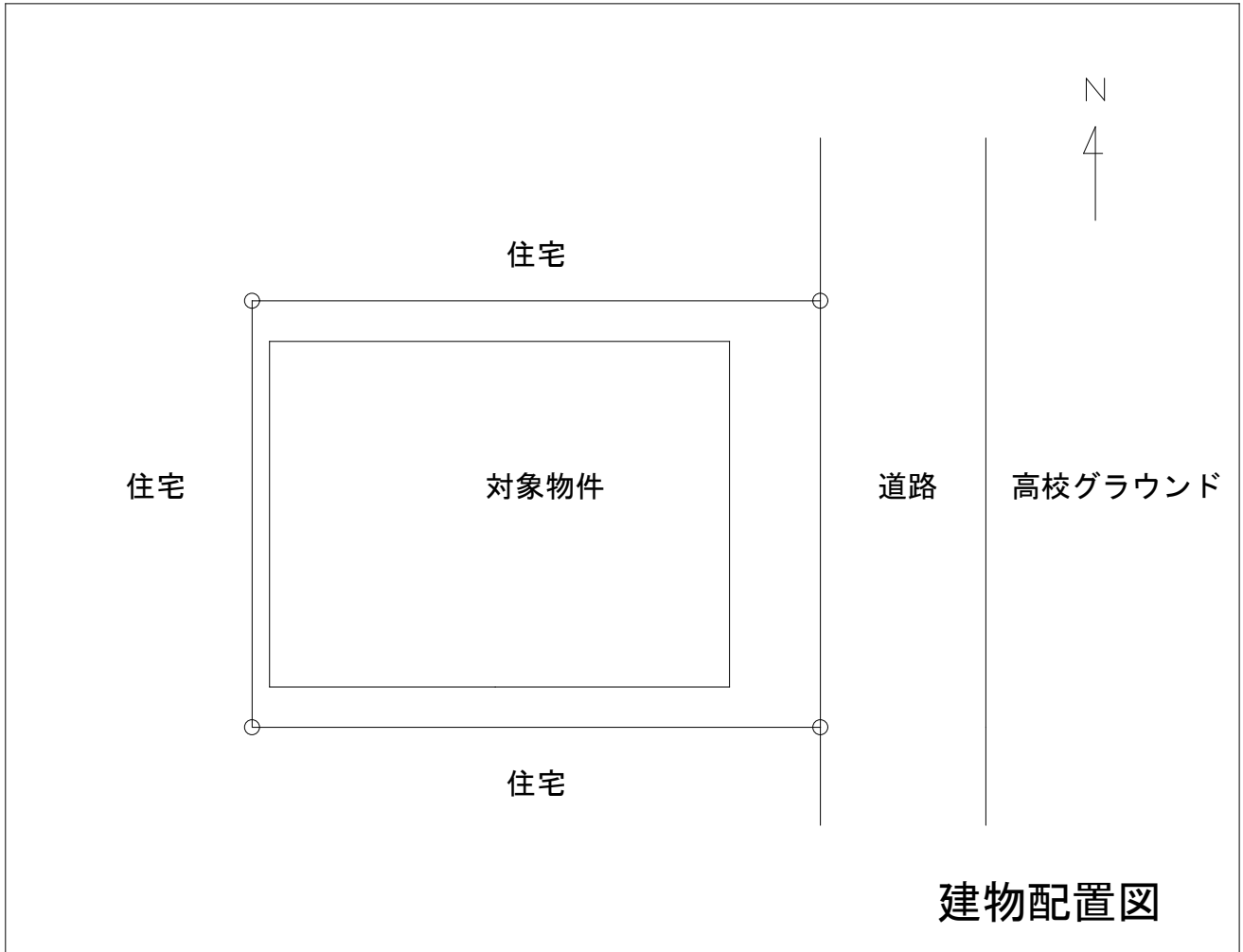
## iii) 防犯カメラシステム

- ・ 屋外社員通用口、駐車スペース、屋内事務スペース、屋内応接スペースに各1台計4台のネットワークカメラが設置されていた。
- ・ ルーターを介してR警備保障本社でも遠隔監視できるシステムであった。

以上、事件当時の防犯設備と仕様、運用に関する情報である。壊れたままの設備を放置していた事実や金庫室の暗証番号を仮眠中の警備員までもが知っていた事実が判明した。

解答欄3つの項目について提言せよ。

次頁へ続く



## 解答欄

## (1) 現状の懸念事項、問題点について

①	
②	
③	
④	
⑤	

## (2) (改善策)運用管理について

①	
②	
③	

次頁へ続く

(3) (改善策)防犯設備について

①	
②	
③	
④	
⑤	